

② キャリア教育の視点に立った教育活動の工夫

課題と目標

【具体的な取組の方向】

- ・総学の学部学科研究を工夫する。
- ・面談や懇談を工夫し進路実現をする。
- ・キャリア教育を取入れた修学旅行を計画する。
- ・執行部と委員会を連携してあいさつ運動を実施する。
- ・教室整備と点検活動をおこなう。

B【進路】

【進路】

B【教務】

B【生徒】

C【家政】

【プロセス】

【進路課】

・総合的な学習の時間におけるキャリア教育(例 普通科1年次)

4月	学習・生活オリエンテーション 自己理解	9月	課題研究Ⅰ	12月	進路講演会
5月	進路学習の大切さ		課題研究Ⅱ	1月	小論文指導Ⅰ
6月	文理選択について	10月	課題研究Ⅲ		小論文指導Ⅱ
	文理選択について		キャリア教育講演会		小論文指導Ⅲ
7月	学部学科研究	11月	課題研究Ⅳ	2月	小論文指導Ⅳ
	企業訪問準備		課題研究Ⅴ		小論文指導Ⅴ
	職業人インタビュー		学問ワークショップ		1年間のまとめ
	企業訪問		課題研究発表準備		
			課題研究発表		

・1年次企業訪問先(7月27日～8月6日)

普通科:岡山県庁,岡山弁護士会,NHK岡山放送局,天満屋,山陽新聞社,高梁中央病院,ベネッセホールディングス,林原生物化学研究所,三菱重工水島製作所
家政科:まきび,岡山情報ビジネス学院,岡山県理美容,岡山ビジネスカレッジ

- ・生徒面談 4月19日～27日,6月14日～22日(1・3年)21日～25日(2年),9月9日～17日の期間で実施
- ・生徒用の成績記録表を作成し生徒面談で活用
- ・保護者懇談 7月20～23日,12月6～8日で実施

【教務課】

- ①業者が持っているキャリア研修のプランを収集
JTB,近畿日本ツーリスト,日本旅行
- ②年次主任の意見を聞く
9月21日の連絡会で意見を聞く
- ③教務課内に小委員会を作り,進路課の意見をもらいながら原案を作成
小委員会 10/6, 10/15, 10/26
- ④案を元に年次主任と協議,
11/2, 12/7, 1/12
- ⑤修学旅行委員会で協議後,職員会議にて承認
委員会 1/21 職員会議 2/3

【生徒課】

生徒会執行部による週3回「あいさつ運動」継続実施。
服装点検を月1回実施し、生徒課長がマナーや規範について年6回程度講話をする。

【家政科】

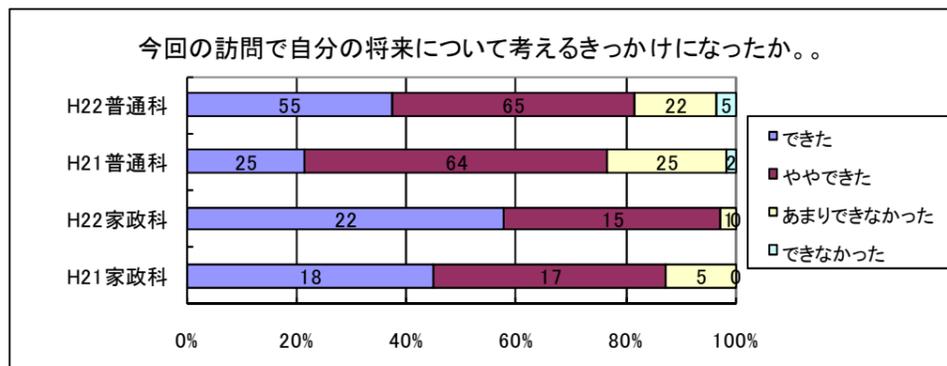
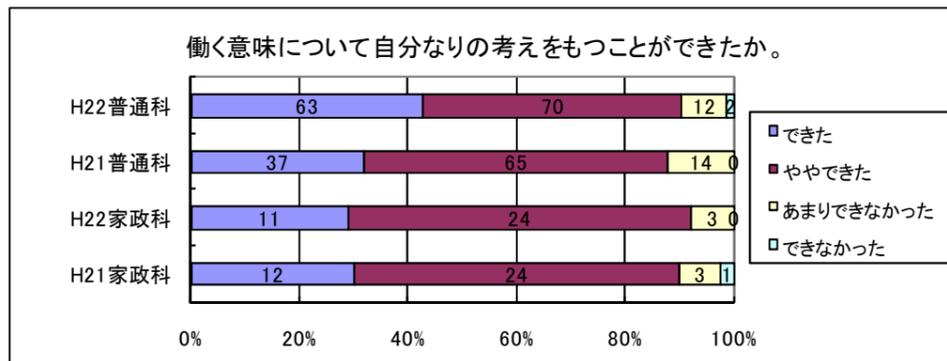
教室の整理について生徒主体で2回会議実施。
教室の整理、点検活動等の実施はできていない。

【その他】

- ・ボランティア活動1年次9名,2年次11名,3年次4名が単位認定予定。
- ・高梁市栄町商店街活性化事業で、空き店舗で市内高校が出店。
吹奏楽部1回,コーラス部1回,手芸部1回,英語部1回,将棋部5回

【結果等】

【進路課】 1年次企業訪問アンケートから



○1年次ワークショップの感想

- ・もっと薬学についての興味が深まった。
- ・大学生の時間割や生活などがとてもわかりやすく勉強になった。
- ・農学部は思っていたイメージと違って、知れてよかった。
- ・これから色々な分野のことを自分から調べてみたいと思います。

○2年次大学訪問の感想

- ・専門的なことをたくさんしていて、自分の発見ができるということにすごい憧れをもった。
- ・大学に入るのなら、勉強は受験のためにするだけではなく、大学の授業のため、またその先も使うために使うためにすべきだと学びました。
- ・懇談会を含めて、大学進学への願望が芽生え、自分の進路を本気で考え実現できるように精一杯頑張ろうと思った。

【教務課】

○修学旅行の主な研修内容

- ・企業・大学等(企業,筑波研究学園都市,官公庁,JICA,大学,専門学校等)
- ・文化施設等の見学(美術館,博物館,パナソニックセンター東京等)
- ・講演会(経済同友会,同窓会東京支部等に依頼)

- 研究の成果を検証し、充実させる。
- ・ 総合的な学習の時間の検証、充実
- 社会との関わりや社会人として必要なマナー、規範意識の醸成
- ・ ボランティア活動
- ・ 挨拶運動
- ・ 清掃活動
- ・ 地域、大学との連携